

抄録

濱田治

愛仁会高槻病院総合内科

京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野

筆者は総合内科医として市中の総合病院で病棟総合医として勤務している。プライマリ・ケア領域(総合診療/家庭医療、総合内科)で働くジェネラリストは、臨床現場や患者のニーズに応じて自分の診療スタイルを変化させて対応することが求められる。ジェネラリストが臨床現場のニーズに応じて自分のスタイルを変化させるがゆえに、ジェネラリストで研究を行っている人は、現場のニーズに応じて差し迫った臨床疑問に対して分野を問わず柔軟に研究していることが多い。本講演では、筆者が病棟総合医として働く中で生まれた臨床疑問に対して、どの様に取り組んできたかを振り返り、これから臨床研究に取り組んでみたい方、臨床研究を行い課題に直面している方に参考になるような内容を伝えたい。